

第5学年音楽科学習指導案

大國小

1 題材名 表現を工夫しながら伸びやかな声で歌い合わせよう

2 題材の目標

- ・歌詞の内容や曲想を生かした表現を工夫して合唱を楽しむ。
- ・音の重なりや響きを感じながら、歌唱表現をしたり、形態の異なる合唱を鑑賞したりする。

3 題材について

この題材は、指導要領第5学年及び第6学年の目標（2）「基礎的な表現力を高め、音楽表現の喜びを味わうようにする。」を受け、内容A表現（1）イ「歌詞の内容、曲想を生かした表現を工夫し、思いや意図をもって歌うこと。」を実現するためのものである。

本題材では、楽曲の特徴をとらえ、表現を工夫し、思いや意図をもって表現を高めていく実践である。歌詞の表す情景や気持ち、楽曲を特徴付けている諸要素を感じ取り、強弱や唱法などの表現の工夫をしながら合唱をさせたい。

本校の5年生の子どもたちは、これまで音楽の学習を通して「音楽を形づくっている要素」を感じ取ること、そして、それらを操作して表現を工夫することを経験してきた。その中で、「音楽を形づくっている要素」に関する言葉を、常に音楽の言葉として提示することで、児童がそれらを様々な学習の場面で活用できるようにしている。

そこで本題材では、鑑賞と歌唱の活動において、音楽を形づくっている要素をよりどころにして、楽曲のよさや表現の工夫について、“音楽の言葉”を用いて説明したり、提案したりする活動を行う。これらの言語活動を通して、一人ひとりの感じ取った楽曲のよさを学級全体で共有したり、一人ひとりの「こう歌いたい」という思いや意図を共有したりしながら、1つの音楽をつくっていく過程を重視した学習指導を行う。その際、子どもの思考・判断を引き出し、表現力を高めるための教師の働きかけやICT機器の活用法などを工夫する。また、言語活動と音楽活動の相互関連を図ることを大切にした授業を構築する。

4 教材

- ・歌唱教材
「ハロー・シャイニングブルー」 鈴木須美子 作詞 西澤健治 作曲
- ・鑑賞教材
「雪」 文部省歌
「夕焼け小焼け」 中村雨紅 作詞 草川 信 作曲

5. 題材の評価規準

ア 音楽への関心・意欲・態度	イ 音楽表現の創意工夫	ウ 音楽表現の技能	エ 鑑賞の能力
①歌詞の内容や曲想を生かして歌うことに興味・関心を持ち、豊かな表現を目指して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	①楽曲の魅力を生み出している音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、歌詞の内容や曲想を生かした表現を工夫し、どのように歌うかについて自分の思いや意図をもっている。	①友達の歌声に耳を傾け、声を合わせて歌ったり、伴奏や他パートを聴いたりしながら、響きのある声で歌っている。 ②歌詞の内容や曲想を生かした表現で合唱をしている。	①感じ取ったことを音楽を形づくっている要素と結び付けて言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさを理解し、味わって聴いている。

6. 題材の指導と評価の計画・・・全5時間

時	○学習のねらい及び内容	◇学習の活動 ・教師の働きかけ	評価 【評価方法】
1	○声の種類や合唱形態を理解する。 ○混声合唱と児童合唱を聴き比べてそれぞれの音色を味わう。 ・柔らかくのびやかな児童合唱と混声四部の豊かな響きを感じ取る。	◇ソプラノ，アルト，テノール，バスなどの種類や特徴を知る。 ◇女声，男声，混声，児童など，合唱形態について理解する。 ◇「雪」と「夕焼け小焼け」をそれぞれ児童合唱と混声四部合唱で聴き比べて，それぞれの響きの特徴や歌唱表現のよさを味わう。 ・同じ曲を聴き比べることで，声の種類や構成によって感じが変わることに気づくようにする。 ◇学習カードに聴き取ったこと，感じ取ったことを書く。	エー① 【学習カード】
2 ・ 3	○「ハロー・シャイニングブルー」の範唱を聴き，楽曲の感じをつかむ。 ○歌詞の内容を理解して，響きのある声で歌う。 ○リズムや音程に注意しながら，各パートの練習をする。	◇範唱を聴いて曲想を感じ取り，主旋律を歌う。 ◇音の跳躍やリズムに気を付けながら主旋律を歌う。 ・八分休符やタッカのリズムに気を付けさせる。 ◇詩の内容を理解する。 ・詩の情景を意見交換しながらつかませる。 ◇詩の内容から受ける情景を絵に描き，イメージをふくらませる。 ◇呼吸や歌詞の発音に気を付けて主旋律を歌う。 ・呼吸や発音等の歌唱指導を適宜行う。	アー①【観察】 ウー①【観察】
4	○「ハロー・シャイニングブルー」の曲想を感じ取り，それらを生み出す音楽を形づくっている要素について考える。 ○歌詞の内容や曲想を生かした表現について工夫する。	◇楽曲を歌ったり聴いたりして，曲想を感じ取る。 ◇楽譜を見て，楽曲の特徴を読み取る。 ・個人で考えさせた後，学級全体で考えさせる。 ◇歌詞の内容や曲想を生かした表現方法を考える。 ・個人で考えさせた後，グループで考えさせる。 ・表現の工夫とその理由を学習カードに記入させる。	イー① 【学習カード】
5 ・ 本時	○「ハロー・シャイニングブルー」の歌詞の内容や曲想を生かした表現について工夫する。 ○学級全体で音楽表現を深める。	◇歌詞の内容や曲想を生かした表現方法についてグループごとに発表する。 ◇各グループで出された表現方法を学級全体で試してみる。 ・技術的に必要な歌唱指導を適宜行う。 ・子どもの歌を録音し，自分たちの表現の工夫を聴き，さらに表現を高めるにはどうしたらよいか考えさせる。 ◇本時で共有した表現の工夫を意識して，「ハロー・シャイニングブルー」を歌う。	ウー②【観察】

7. 本時の展開

(1) 本時のねらい（本時は5時間扱いの2時間目）

- ・歌詞の内容や曲想を生かした表現を工夫して合唱を楽しむ。

(2) 本時の評価規準

- ・歌詞の内容や曲想を生かした表現で合唱をしている。（音楽表現の技能）

(3) 学習の展開

時	◎学習内容	・学習活動	○教師の働きかけ・準備 ◇評価
第5時	◎拍に合わせてリズム打ちをする。	・フラッシュカードに合わせて、リズム打ちをする。	○拍を意識してリズム打ちをするよう、助言する。 ○「ハロー・シャイニングブルー」に出てくるリズムも出し、歌唱につなげる。 ・ICT ① iPad,デジタルフラッシュカード
	◎リズムや音程に気を付けて「ハロー・シャイニングブルー」を歌う。	・「ハロー・シャイニングブルー」を歌う。 ・後半の2部合唱の音を確認する。 ・通して合唱する。	○リズムや音程に気を付けて歌うよう、助言する。 ・「ハロー・シャイニングブルー」ピアノ伴奏音源 ・ICT ② iPod,ワイヤレスレシーバー, ステレオ
	◎前時にグループで話し合った表現の工夫を発表する。	・グループごとに表現方法とその理由を発表する。	○発表内容を拡大表示する。 ・ICT ③ iPad,液晶モニター ○発表内容を〔共通事項〕別にまとめ、表示する。 ・ICT ③ iPad,液晶モニター
	◎各グループから出された表現方法で歌う。	・各グループで出された表現方法を学級全体で試してみる。 ・各グループの意見や実際に歌ったことをもとに、歌詞の内容や曲想に合う歌い方について意見交換を行い、表現の工夫を共有する。	○各グループの表現の工夫のよい点や課題について歌唱を通して感じ取らせる。 ○技術的に必要な歌唱指導を適宜行う。
	◎歌詞の内容や曲想を生かした表現で「ハロー・シャイニングブルー」を歌う。	・本時で共有した表現の工夫を意識して、「ハロー・シャイニングブルー」を歌う。	○子どもの歌を録音し、自分たちの表現の工夫を聴き、さらに表現を高めるにはどうしたらよいか考えさせる。 ・ICT ④:iPad,ステレオ ○技術的に必要な歌唱指導を適宜行う。 ○本時で共有した表現の工夫を意識して、「ハロー・シャイニングブルー」を歌うよう、助言する。 ◇歌詞の内容や曲想を生かした表現で合唱をしている。（音楽表現の技能①, 観察）